

## 第 2 期長期モニタリング（サケ類）調査に関して

河川工作物 AP 会議事務局  
（北海道森林管理局・北海道）

## I 調査目的等

- ・世界自然遺産地域の河川におけるサケ類の遡上数、産卵床数、河川工作物の溯上及び産卵への影響を各種手法を用いてモニタリングする。
- ・ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川にてサケ類の遡上量を推定するため、遡上中の親魚数、産卵床数、稚魚降下数を調査。

## II 調査手法

ア) 遡上数調査（隔年実施 R5・R7・R9・R11・R13）

- ① 対象河川は、ルシャ川、ルサ川及びテッパンベツ川の 3 河川とする。  
1 河川において流れが 2 筋になっている場所は、2 筋とも調査を実施する。
- ② 対象魚種は、カラフトマスとする。
- ③ 調査期間は、9 月第 1 週から 9 月第 4 週までの 4 週間とし、各河川毎に週 2 回（1 河川当たり延べ 8 回）の調査を行う。（各河川毎に 2～3 日の調査間隔）
- ④ 調査方法は、各河川の河口付近に 1 箇所定点を設定し、8 時から 16 時までの時間内で、2 時間毎に各 20 分間定点を通過する遡上数と降下数を目視でカウント

イ) 産卵床調査（隔年実施 R5・R7・R9・R11・R13）

- ① 対象河川は、ルシャ川、ルサ川及びテッパンベツ川の 3 河川とする。  
1 河川において流れが 2 筋になっている場所は、2 筋とも調査を実施する。
- ② 対象産卵床は、カラフトマスの産卵床とする。
- ③ 調査は、産卵床が最大になる時期である 9 月第 5 週及び 10 月第 1 週を目安として各河川毎に 2 回行う。
- ④ 調査範囲は、ルシャ川は河口から上流 3,100 m までの区間、ルサ川は河口から 1,100 m までの区間、テッパンベツ川は河口から 2,100 m までの区間とする。
- ⑤ 調査方法は、各河川ともにレーザー距離計等を用いて 100 m ごとに区間を設定のうえ、その測点毎に河床幅を測定するとともに、区間内の産卵床の全数をカウント

ウ) 稚魚降下数調査（隔年実施 R4・R6・R8・R10・R12）

- ① 対象河川は、ルシャ川、ルサ川及びテッパンベツ川の 3 河川とする。  
1 河川において流れが 2 筋になっている場所は、2 筋とも調査を実施する。
- ② 対象魚種は、サケ（シロザケ）、カラフトマスとする。
- ③ 調査は、4 月下旬から 6 月下旬に 8 回行う。
- ④ 調査方法は、各河川の河口から上流 50 m 付近に 1 箇所定点を設定し、捕獲用の網（網口 50 × 50cm）を 1 個設置し、採捕した降下稚魚の個体数をカウントする。調査時間は 17 時台から 22 時台までの間で、1 時間に 1 回採捕を実施する。採捕した個体は、個体数を記録後、速やかに放流する